

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

課長（事務職員）・担当課長（事務職員）

評価領域	着眼点
I 事務事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目指す学校像」を踏まえ、課題を明確にし、問題意識を持って意欲的に学校経営に取り組み、校長の目標の実現のための具体的な方策を企画立案している。</li> <li>・円滑な学校運営に向けて、校長に指示された業務や自分の担当業務を、整理した上で自ら判断し、責任感を持って迅速に処理している。</li> <li>・校長を助け、組織として十分機能を発揮させ、職員の学校運営に対する参画意識を高めている。</li> <li>・学校の取組を積極的に情報提供するなど、関係機関、保護者、家庭、地域等との連携を図っている。</li> </ul>
II 施設・事務等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令等を的確に解釈・運用し、施設・設備の管理、財務管理、諸帳簿の整備などの事務を適切に行っている。</li> <li>・絶えず自己啓発を行い、職務遂行に必要な知識や技術の習得に努めている。</li> <li>・業務の優先順位を見極めながら、効率性や時間の観念を持って職務のスケジュールを管理している。</li> <li>・新たな視点や方法を取り入れて、前向きな姿勢で意欲的に業務の改善や見直しを行っている。</li> </ul>
III 職員の指導育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の能力等を把握し、その能力の伸張が図られるように適切に指導・育成している。</li> <li>・職員の適正な服務管理、健康管理に努め、コミュニケーションを図るとともに、各職員のワークライフバランスの推進を考慮した適切な指導・助言を与えている。</li> <li>・職員の共通理解を深めながらチームワークづくりを推進し、学校の教育力を最大限発揮できる職場づくりに努めている。</li> <li>・公務員として、高い倫理感と自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。</li> </ul>
チームワーク行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。</li> </ul>